

2015年度 「ボランティアコーディネーター説明会」が開催されました

4月15日（水）午前10時より、町田市役所3階災害対策本部室において、2015年度ボランティアコーディネーター説明会が開催されました。冒頭の本年度の教育委員会関係者及び学校支援センター



のスタッフの紹介に続き、高橋圭子教育委員長職務代理者から「町田市の学校支援ボランティアは、組織の面でも活動の内容の面でも他に先じるものであり、子どもたちがさらにより経験・活動の機会を得られるよう、各学校においていっそうの支援に取り組まれること」との期待が込められた挨拶がありました。ボランティアコーディネーター（以下「VC」）の皆さんへの委嘱書の交付の後、学校支援センター事業の説明がされました。活動内容や活動形態は例年と大きく変わるも

のではありませんが、近い将来に解決が求められる会計面での課題やそれにとともなう活動形態の改善の課題も指摘されました。閉会の後にもいくつかのブロックごとに打ち合わせが行われるなど、意欲的な活動を予感させる説明会でした。

本年度は交代、増員などにより13名の新しいVCが加わり、総計で99名の学校支援体制となります。学校支援センターとの連携、VC相互の協力・援助を進めながら、



学校支援活動へのよりいっそうの貢献がされるよう期待されます。また、昨年度末でご勇退されたVCの皆様には、お力添えいただいたことに対し、心よりの感謝を申し上げます。

学校支援センターにおいては田村が退任し、新たに有賀が着任いたしました。本年度は相田、有賀、岡田の3名の統括ボランティアコーディネーター及び事務の阿部の計4名で業務を遂行してまいります。よろしくお願い申し上げます。

地域に残る「ほしざくら」の見学 小山小 4年 4/9

小山小学校の4年生は、「小山のホタルと自然を守る会」(2012年度の町田市学校支援ボランティア感謝状受賞団体)のご協力により、地域にある谷戸を「総合的な学習の時間」の教材として、学習活動を進めています。「片所谷戸(かたそやと)」という場所です。片所谷戸には「ホシザクラ」が自生し、「ホタル」「カワニナ」が



生息し、自然の湧水も残っています。また、首都大学東京の学生が調べたところ、多摩地区のホシザクラ177本のうちの31本が片所谷戸に自生・群生していたということや、ホシザクラは実をつけることが少なく、地下で根を伸ばして子株を増やしていくことが多いということも見学した子供たちにとって驚きだったようです。

近年、小山や小山ヶ丘地区では開発が進んでいます。今回見学に訪れた場所の近くまで開発計画があり、工事が間近に迫っているとのことでした。このような貴重な自然ができる限り保存され、未来を担う子供たちに引き継がれてほしいものです。当日はボランティアコーディネーターが現地に足を運び、「小山のホタルと自然を守る会」と担任とを熱心につないでおりましたが、地域の宝物を後進に引き継ぐうえでも重要な役割を果たしていると思いました。

ひなた村での「縄文体験」 つくし野小 6年 4/22

6年生の社会科では、我が国の歴史上の主な事象について、人物の働きや代表的な文化遺産を中心に遺跡や文化財、資料などを活用して調べます。そして、歴史を学ぶ意味を考え、自分たちの生活の歴史的背景、我が国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めることになっています。調べ学習の手始めに、「ひなた村」の縄文体験を通して、狩猟・採集や農耕の生活を自ら味わうことは、社会科への興味・関心度を高めることになり、社会科好きの児童を育てるきっかけになるかもしれません。



ひなた村では「火起こし」「弓矢」「レクチャー」「縄文人のフェイスペイント」などのコーナーがあり、一人一人が縄文時代を想定した体験活動を行っていました。「火起こし」の体験は簡単そうに見えて意外に手こずっているグループもありましたが、指導員の熱心なご指導・ご支援で徐々に火を起こすことができるようになりました。また、昔の人が食べ物を得るためにどんなに苦勞を味わったかを知る意味で、石器について学んだり、弓矢体験をしたりしたことが今後役に立つことと思います。



4月24日（金）に小山田小学校と小山田南小学校の5年生がそれぞれに、小山田緑地の水田に向き、地元のボランティアの皆さんによる準備と指導のもと、苗代への種籾まきを体験しました。泥に足を取られがちな田んぼの中での歩き方、乾いた指の間から散らすようにする種籾のまき方などを教わり、おぼつかない足取りで作業に取り組みました。米作りの工夫を学び、またその作業の大変さを実感しながら、秋の収穫に向けた取り組み・学びの第一歩を踏み出しました。

桜美林大 教育ボランティアガイダンス

4/22



桜美林大学では学校などでボランティア活動を希望する学生向けに、新年度早々にガイダンスを実施しています。大学からの依頼もあって、町田市学校支援センターも説明に出向きました。会場には、午後4時からのガイダンスにもかかわらず、ボランティア活動に関心のある熱心な学生が30名近く集まりました。はじめに、大学の担当からボランティア活動を行うにあたっての心構えなどのレクチャーがあり、続いて、二人のボランティア活動経験者から、「ボランティアをしてみて、自分には何ができるかを考えるようになり、コミュニケーション力や協調性や人間力が高まった」「最初の一步を踏み出すのは大変だけど、勇気を出して一步を踏み出し、最後までやりぬくことが大切」という経験談が語られました。次に、受入れ団体の自己PRなどの全体会が行われた後、ボランティア受入れ団体がブースに分かれて個別に説明を行いました。町田市からは、学校支援センターのほか、小山田小、小山田南小、町田二中、木曽中、忠生中が出席しました。学校が求める人材と大学生が求める活動の場がうまくマッチできることを期待しています。

人材情報 ボランティア活動を希望しています

現在、町田市学校支援センターの人材データベースには次のような方が登録されています。MGN 設置校につきましては、ボランティア ID 番号を人材データベースに入力して検索することでボランティア活動を希望されている方の情報が得られます。学校支援ボランティアをお探しの際にはご参照ください。なお、登録された方がすでに活動されていることもありますので予めご了承ください。

ID 番号	学生 or 一般	希望校	希望されている主な活動内容
150001	学生	小学校	学習補助や学校行事の補助など
150002	一般	小・中	学習補助や学校行事の補助など
150003	一般	小・中	土日に情報処理や環境学習など
150007	一般	小・中	授業中補助や国際理解教育など
150009	一般	小学校	土日に学校行事の補助など
150010	一般	小・中	PC の指導 月に平日 2 回位
150011	一般	小学校高学年か中学校	放課後の数学・理科の学習補助
150012	学生	小学校の低・中学年	授業中の補助や登下校見守りなど
150013	学生	中学校	放課後の学習補助
150014	学生	小学校	学習補助や学校行事の補助など
150016	学生	中学校	環境整備や折り紙など
150017	学生	小・中	放課後の学習補助 吹奏楽補助
150018	一般	中学校	英語の学習補助、日本語指導
150019	一般	小学校	学習補助
150020	一般	小学校の中・高学年	算数の指導補助
150021	一般	小学校	理科・生活科・環境教育の学習補助
150022	学生	小・中	授業中や放課後の学習補助など
150024	学生	小学校	授業中や放課後の学習補助など
150025	一般	小・中	授業中や学校行事の補助など
150027	一般	小学校の高学年か中学校	放課後の数学・理科の学習補助
150028	一般	小学校	紙芝居
150029	学生	小学校	授業中や放課後の学習補助など
150030	一般	小学校	授業中や放課後の学習補助、学校行事の補助など
150031	一般	小・中	授業中や放課後の学習補助
150032	一般	小・中	授業中や放課後の学習補助(数学・理科)
150033	学生	小学校	授業中の補助
150034	学生	小学校	放課後の生活指導補助など
150035	一般	小学校高学年か中学校	授業中や放課後の学習補助(理科)
150036	一般	小学校中・高学年か中学校	水墨画の指導
150037	一般	小・中	授業中の学習補助、学校行事の補助など
150041	一般	中学校	授業中の補助(英語)